

指差喚呼のヒューマンエラー防止効果体感プログラム

重森雅嘉 佐藤文紀 増田貴之

指差喚呼は、ヒューマンエラー防止の基本動作として、広く実施されているが、普段の作業の中でヒューマンエラー防止効果を体感することは難しい。そこで、指差喚呼の5つのヒューマンエラー防止効果（①指差の視線停留効果、②喚呼の記憶強化効果、③喚呼のエラー気づき効果、④指差喚呼の覚せい維持効果、⑤指差による反応遅延のエラー抑制効果）のそれぞれをPC上で体験できるプログラムを開発した。このプログラムを用いて、体感を通じた研修を行うことにより、指差喚呼の重要性の認識を高めることが期待できる。実際、JR会社の運転士研修における本プログラムを用いた研修の前後で、指差喚呼のエラー防止効果の認識に関するアンケートを比較した結果、研修後には高い認識が得られることが明らかになっている（図）。現在、鉄道会社を始め、いくつかの会社の安全研修に本プログラムが導入されている。このような研修に興味のある方は相談いただきたい。

（鉄道総研報告，2012年1月号）

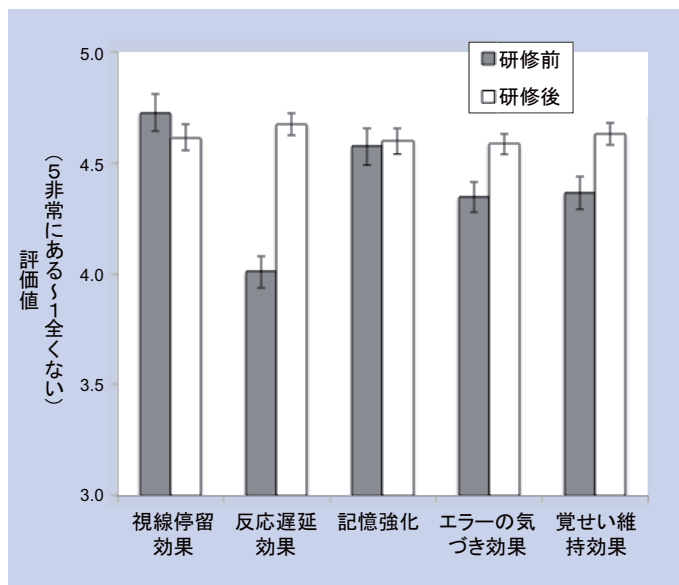


図 指差喚呼のエラー防止効果体感学習ソフトを用いた研修前後における各課題のエラー防止効果の認識の平均値